

## 2009年12月(第91回)景気定点観測アンケート調査結果

調査期間:2009年11月30日～12月7日

調査対象:2009年度(社)経済同友会幹事、経済情勢・政策委員会委員、その他委員会登録の  
経営トップマネジメント(534名)および各地経済同友会代表幹事(73名)

計607名

集計回答数:212名(回答率=34.9%)(製造業67名、非製造業145名)

((社)経済同友会会員164名、各地経済同友会代表幹事48名)

\*本調査は年4回(3月、6月、9月、12月)実施

### 【調査結果の概要】

#### ・景気判断

##### (1)景気の現状について

「横ばい状態が続いている」(43.9%)が最も多く、次いで「緩やかに後退している」(23.1%)となった。同友会景気判断指数( )は-11.75となり、7・四半期ぶりにプラスとなった前回調査(2009年9月調査 6.3)から一転し、再びマイナスとなった。

##### (2)今後の見通しについて

「横ばい状態が続く」(48.3%)が最も多く、「緩やかに後退する」(25.6%)が続いた。

#### ・企業業績、設備投資等

##### (1)売上高および経常利益

売上高は、2009年10-12月期見込みについて「減収」(51.0%)が最多となったが、2010年1-3月期予想は「横ばい」(36.3%)と「減収」(34.7%)がほぼ同水準となった。

経常利益は、2009年10-12月期見込みについて「増益」(36.9%)と「減益」(33.2%)がほぼ同水準となったのに対して、2010年1-3月期予想は「増益」(40.3%)が最多となった。

##### (2)設備投資

前年度に比べて「減額」(52.7%)との回答が最も多かった。

##### (3)雇用状況

前回調査に比べ、全体として「過剰である」がわずかに増加(30.2% 32.2%)し、非製造業では5.4ポイント増加した。

#### ・トピックス

##### 鳩山内閣の評価

鳩山内閣の発足以降の政策展開・政権運営について、「どちらともいえない」(37.6%)が最も多く、「どちらかといえば評価している」(31.2%)、「どちらかといえば評価していない」(26.2%)と続いた。

また、評価している政策としては、「行政刷新会議による事業仕分け」「羽田空港のハブ空港化」を挙げる回答が多く、一方、評価していない政策としては、「郵政民営化見直し・社長人事」「普天間基地移設問題」「中小企業金融円滑化法案」などを挙げる回答が多かった。

##### 景気が減速するリスク

前回調査時に比べて再び景気が減速するリスクは、「どちらかといえば高まっている」(51.4%)、「大幅に高まっている」(15.1%)となった。

##### 株価回復の遅れの原因

米欧各国と比較して株価の回復が遅れている理由として、「政治・政策軸の不安定さ(構造改革路線の後退)」(58.8%)、「日本経済の潜在成長率の低下」(51.5%)、「企業の先行き業績予想の低さ」(33.8%)などが挙げられた。

##### 2010年に成長が期待されるG20参加国

G20参加国のうち、2010年に経済成長が期待される国としては、「中国」(91.3%)、「インド」(85.0%)、「ブラジル」(59.5%)などが挙げられた。一方、成長が期待できない国として、「日本」(69.3%)、「アメリカ」(53.4%)、「イギリス」(41.1%)などを挙げる回答が多かった。

( )同友会 景気判断指数:アンケート (1)への回答について、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、それぞれの答えの比率を積算し合計したもの(「その他」は考慮せず)

・日本経済

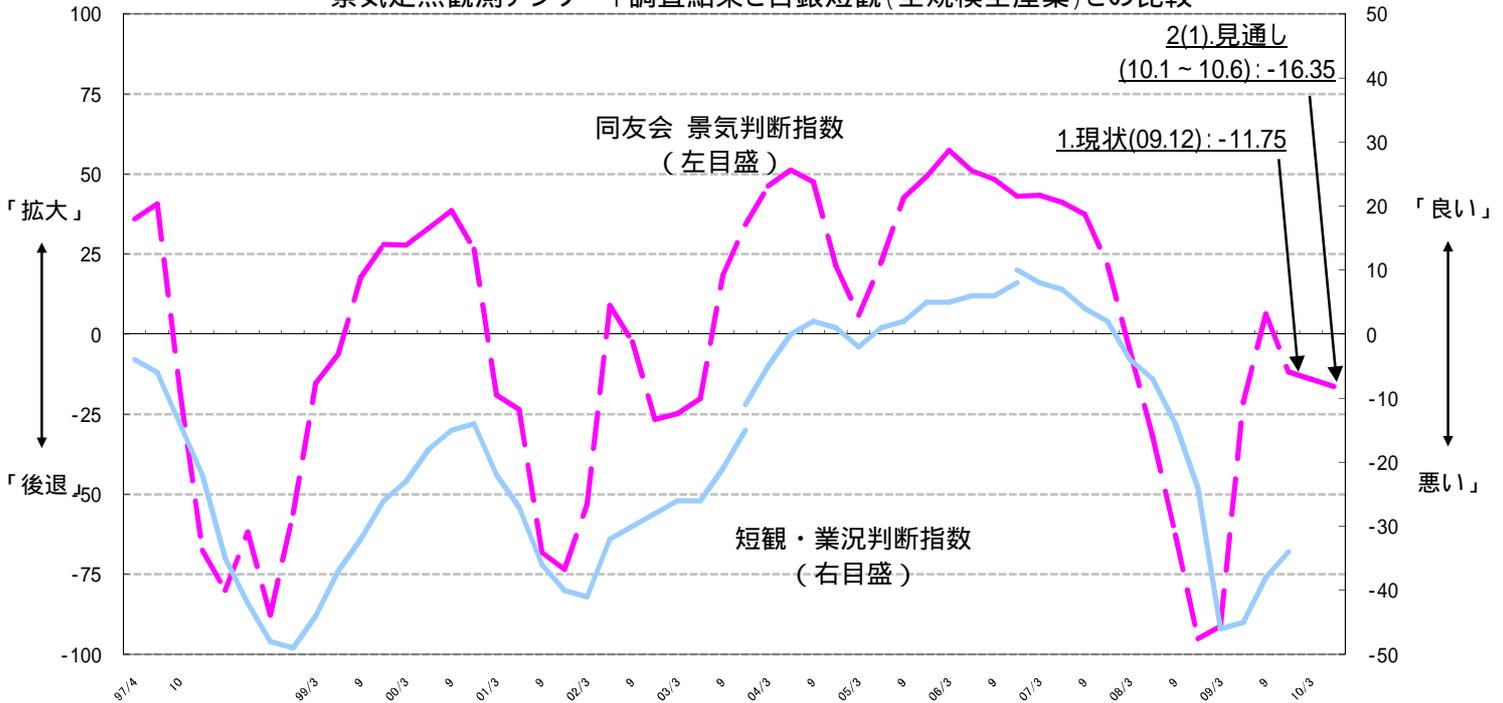
1. 景気の現状について

現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。

図表1(1)

全体(回答数212人)

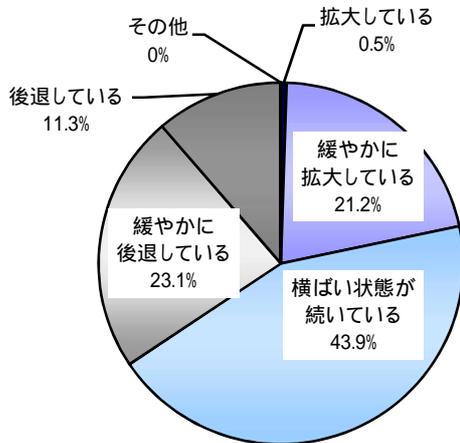
景気定点観測アンケート調査結果と日銀短観(全規模全産業)との比較



(注)同友会 景気指数: アンケートへの答えのうち、「拡大している」を1、「緩やかに拡大している」を0.5、「横ばい状態が続いている」を0、「緩やかに後退している」を-0.5、「後退している」を-1として、それぞれの答えの比率をかけ、合計したもの(「その他」は考慮せず)。

図表1(2)

全体(回答数212人)



図表1(3)

全体(回答数212人)(社)経済同友会(164人)各地代表幹事(48人)  
(回答比%)

調査時点	全 体					(社)経 済 同 友 会	各地代 表 幹 事
	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12		
拡大している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0
緩やかに拡大している	0.0	0.9	12.0	28.8	21.2	23.8	12.5
横ばい状態が続いている	0.9	2.6	48.1	56.6	43.9	44.5	41.7
緩やかに後退している	8.2	7.0	21.0	13.2	23.1	22.6	25.0
後退している	91.0	88.2	16.7	1.5	11.3	8.5	20.8
その他	0.0	1.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0

図表1(4)  
製造業

(回答数67人)

(回答比%)

	2008/6	2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
拡大	0.0	1.5	0.0	0.0	8.9	23.5	25.4
横ばい状態	38.2	0.0	1.3	2.6	59.5	61.8	43.3
後退	61.8	98.5	98.7	94.9	31.6	14.7	31.3

非製造業

(回答数145人)

(回答比%)

	2008/6	2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
拡大	4.8	1.3	0.0	1.3	13.6	31.4	20.0
横ばい状態	37.4	3.9	0.6	2.6	42.2	54.0	44.1
後退	57.1	94.8	99.4	95.4	40.9	14.6	35.9

(社)経済同友会

(回答数164人)

(回答比%)

	2008/6	2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
拡大	4.0	1.8	0.0	1.1	13.2	30.5	24.4
横ばい状態	39.3	3.0	0.5	2.7	48.4	55.5	44.5
後退	56.6	95.3	99.5	94.5	36.8	14.0	31.1

各地経済同友会代表幹事

(回答数48人)

(回答比%)

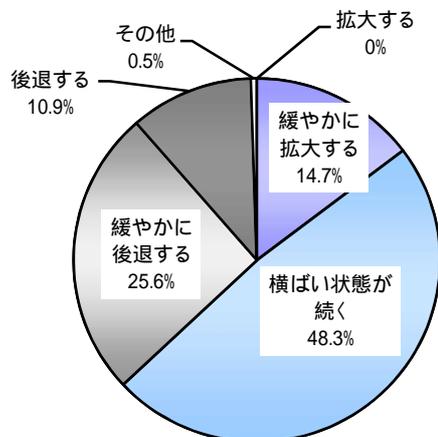
	2008/6	2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
拡大	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	22.0	12.5
横ばい状態	32.0	2.0	2.0	2.1	47.1	61.0	41.7
後退	66.0	98.0	98.0	97.9	41.2	17.1	45.8

「拡大」は「拡大」、「緩やかに拡大」の合計。「後退」は「後退」、「緩やかに後退」の合計。

2. 2010年前半(2010年1月～2010年6月)の景気見通しと主要な経済指標について  
(1) 2010年前半(2010年1月～2010年6月)の景気についてどのようにお考えですか。

図表2(1)

全体(回答数211人)



図表2(2)

全体(回答数211人)(社)経済同友会(163人)各地代表幹事(48人)  
(回答比%)

回 答	全 体				(社)経 済 同 友 会	各地代 表 幹 事
	現状判断	09/6月時*	09/9月時*	今後の見通し		
拡大する	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緩やかに拡大する	21.2	35.6	37.6	14.7	16.0	10.4
横ばい状態が続く	43.9	45.5	43.9	48.3	51.5	37.5
緩やかに後退する	23.1	15.0	15.6	25.6	23.9	31.3
後退する	11.3	3.9	2.4	10.9	8.0	20.8
その他	0.0	0.0	0.5	0.5	0.6	0.0

注) P2の今回調査の景気判断の数値です。

\*注) 09/6月時の回答は09年7月-12月、09/9月時の回答は09年10月-10年3月についての見通しです。

(2) そのように判断する根拠をお選びください(2つまで)。

図表2(3)

全体(回答数207人)(社)経済同友会(161人)各地代表幹事(46人)

調査時点		全 体					(回答比%)	
		2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12	(社)経済同友会	各地代表幹事
設備投資	増加	0.0	0.0	1.3	6.9	2.9	3.1	2.2
	減少	64.8	54.7	31.1	24.1	30.0	32.3	21.7
個人消費	増加	0.4	1.3	9.2	9.4	4.3	5.0	2.2
	減少	50.4	52.4	39.5	43.3	56.5	53.4	67.4
政府支出	増加	1.3	5.3	39.9	26.1	17.4	17.4	17.4
	減少	0.4	0.0	1.8	12.8	17.4	16.1	21.7
住宅投資	増加	0.0	0.0	0.4	1.0	0.5	0.6	0.0
	減少	5.2	4.0	4.8	3.9	4.3	3.7	6.5
輸 出	増加	0.0	1.3	25.4	33.5	16.4	19.9	4.3
	減少	70.9	71.6	21.9	12.3	24.2	21.7	32.6
その他		3.0	4.9	7.5	8.9	11.1	11.2	10.9

(3) 対ドル円相場:2010年6月末値

< 参考 > 2009年11月27日 終値1ドル = 86円15 ~ 16銭

図表2(4)

		回答数209人 (回答比%)							
		75円未満	75円~80円未満	80円~85円未満	85円~90円未満	90円~95円未満	95円~100円未満	100円~105円未満	105円以上
今回		0.5	2.9	12.9	36.4	41.6	5.3	0.5	0.0
前回		1.0		0.5	12.7	50.5	32.4	2.5	0.5

(4) 日経平均株価(東証・225種):2010年6月末値

< 参考 > 2009年11月27日 終値9,081円52銭

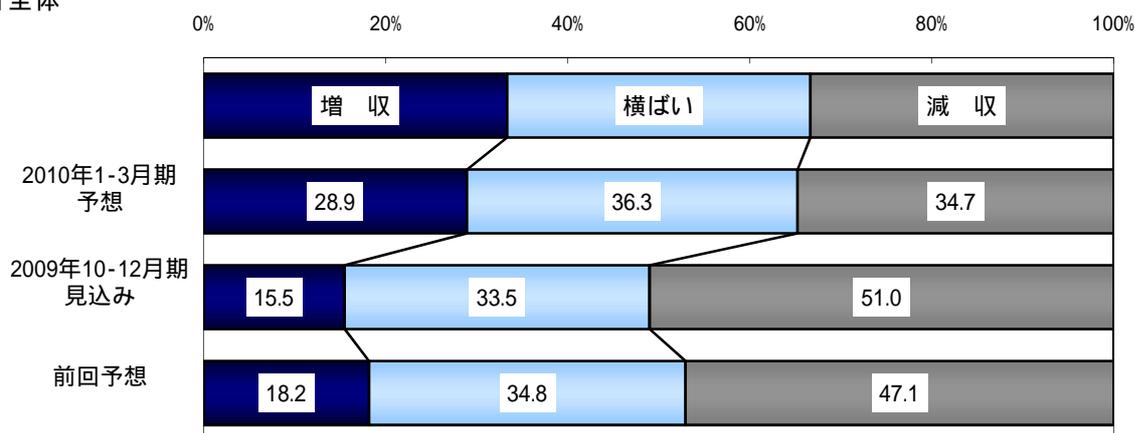
図表2(5)

		回答数209人 (回答比%)									
		5,000円未満	5,000円台	6,000円台	7,000円台	8,000円台	9,000円台	10,000円台	11,000円台	12,000円台	13,000円以上
今回		0.0	0.0	0.0	2.9	11.0	32.1	44.0	8.1	1.4	0.5
前回			0.5		0.0	1.5	13.2	41.2	31.4	9.3	3.0

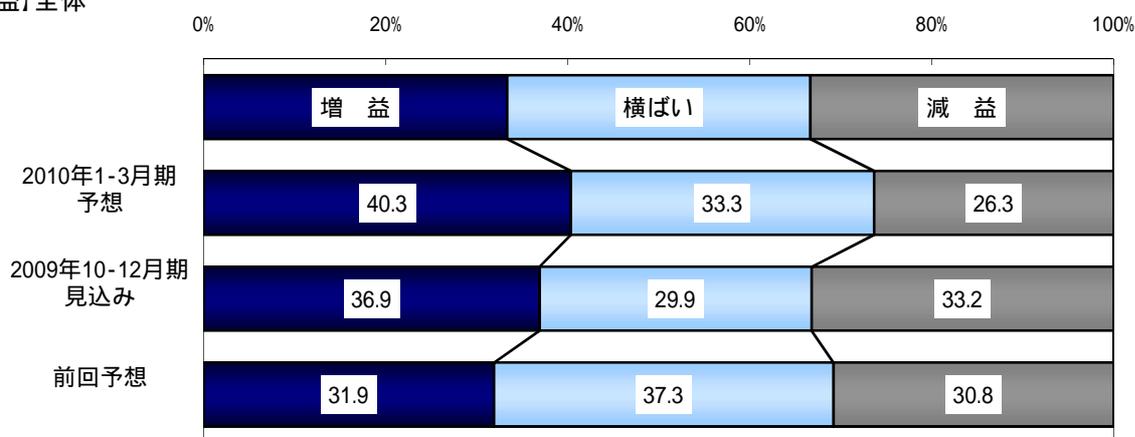
・企業業績、設備投資等

1. 貴社の業績についてお伺いします。下表から該当する番号をお選びください。

【売上高】全体  
図表3(1)



【経常利益】全体  
図表3(2)



図表3(3) 全体

<見込み> (回答比%)				<予想> (回答比%)			
【売上高】	増収	横ばい	減収	【売上高】	増収	横ばい	減収
2009年10-12月期見込み	15.5	33.5	51.0	2010年1-3月期予想	28.9	36.3	34.7
前回予想	18.2	34.8	47.1				
【経常利益】	増益	横ばい	減益	【経常利益】	増益	横ばい	減益
2009年10-12月期見込み	36.9	29.9	33.2	2010年1-3月期予想	40.3	33.3	26.3
前回予想	31.9	37.3	30.8				

図表3(4) 製造業

<見込み> (回答比%)				<予想> (回答比%)			
【売上高】	増収	横ばい	減収	【売上高】	増収	横ばい	減収
2009年10-12月期見込み	17.2	35.9	46.9	2010年1-3月期予想	42.9	28.6	28.6
前回予想	16.9	33.8	49.2				
【経常利益】	増益	横ばい	減益	【経常利益】	増益	横ばい	減益
2009年10-12月期見込み	54.8	19.4	25.8	2010年1-3月期予想	54.0	22.2	23.8
前回予想	34.4	29.7	35.9				

図表3(5) 非製造業

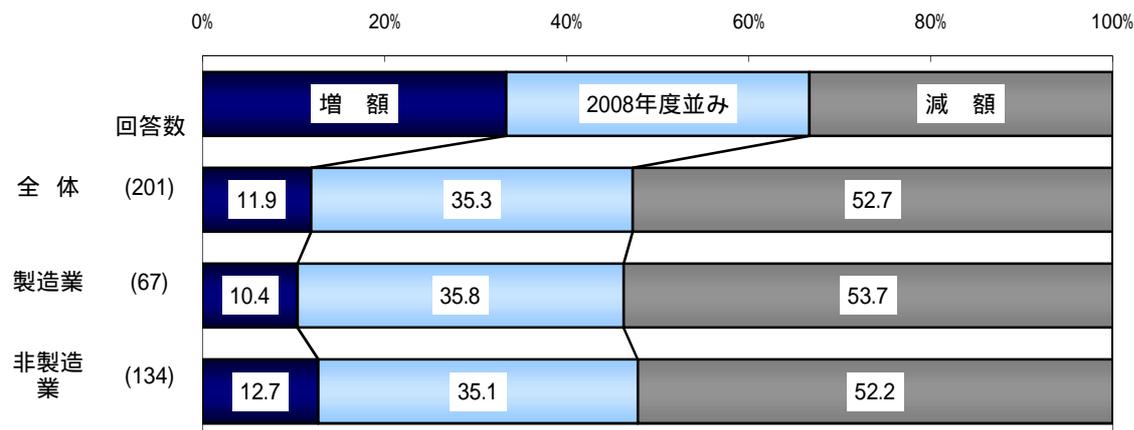
<見込み> (回答比%)				<予想> (回答比%)			
【売上高】	増収	横ばい	減収	【売上高】	増収	横ばい	減収
2009年10-12月期見込み	14.6	32.3	53.1	2010年1-3月期予想	22.0	40.2	37.8
前回予想	18.9	35.2	45.9				
【経常利益】	増益	横ばい	減益	【経常利益】	増益	横ばい	減益
2009年10-12月期見込み	28.0	35.2	36.8	2010年1-3月期予想	33.3	39.0	27.6
前回予想	30.6	41.3	28.1				

(注)いずれも前年同期比

2. 貴社の設備投資(2009年度)についてお伺いします。

(1) 国内の設備投資額(2009年度)は2008年度比でどのようになる予定でしょうか。

図表4(1)



図表4(2)

調査時点		2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
全体	増額	29.5	25.1	11.1	12.2	15.5	11.9
	2008年度並み*	36.2	38.6	31.3	29.9	33.2	35.3
	減額	34.3	36.3	57.7	57.9	51.3	52.7
製造業	増額	39.4	29.9	8.1	12.7	11.8	10.4
	2008年度並み*	28.8	32.5	17.6	21.5	26.5	35.8
	減額	31.8	37.7	74.3	65.8	61.8	53.7
非製造業	増額	25.0	22.6	12.7	12.0	17.6	12.7
	2008年度並み*	39.6	41.8	38.8	34.5	36.8	35.1
	減額	35.4	35.6	48.5	53.5	45.6	52.2

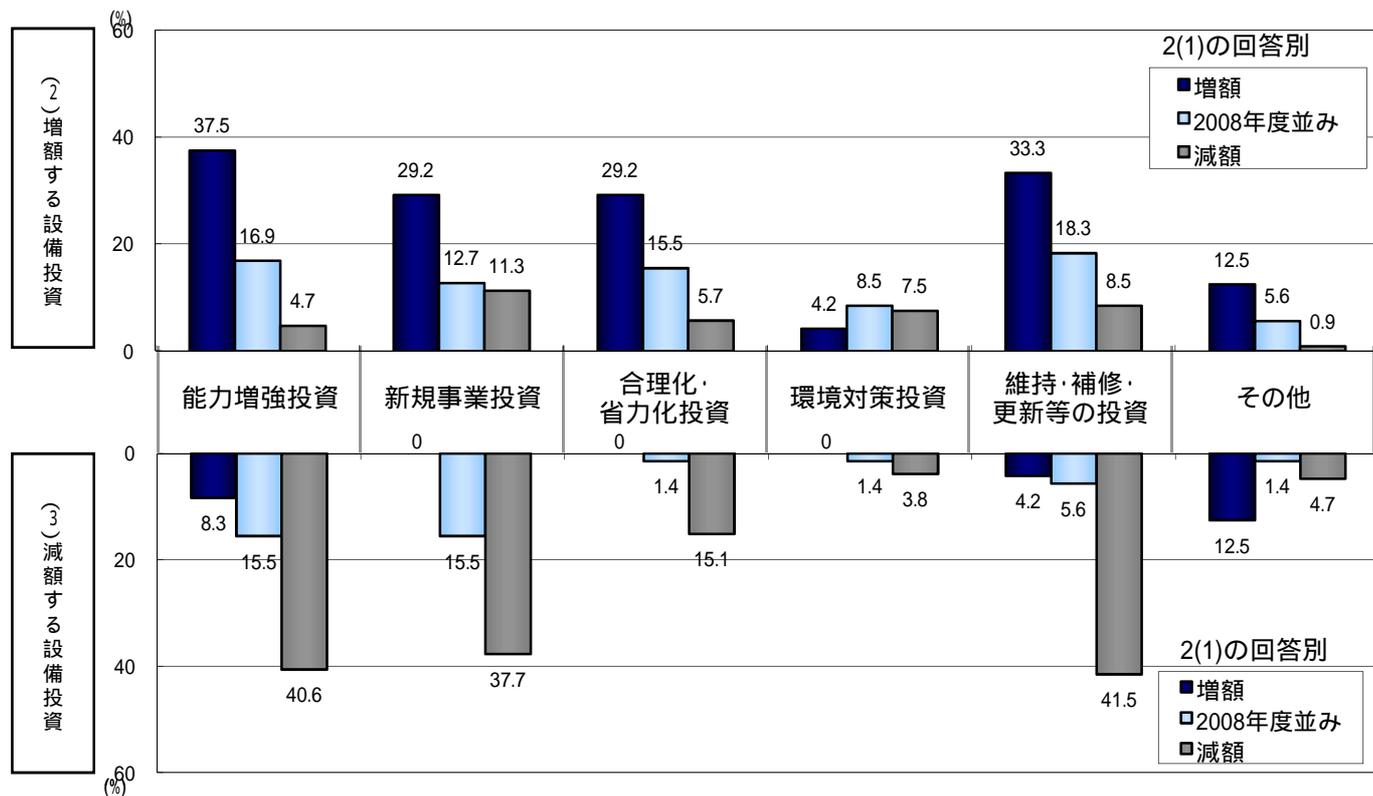
\*注) 2008年調査時は2007年度並み

(2) 増額される設備投資の主な内容をお選びください。(複数回答可)

(3) 減額される設備投資の主な内容をお選びください。(複数回答可)

図表4(3)

全体(回答数201人)



図表4(4)

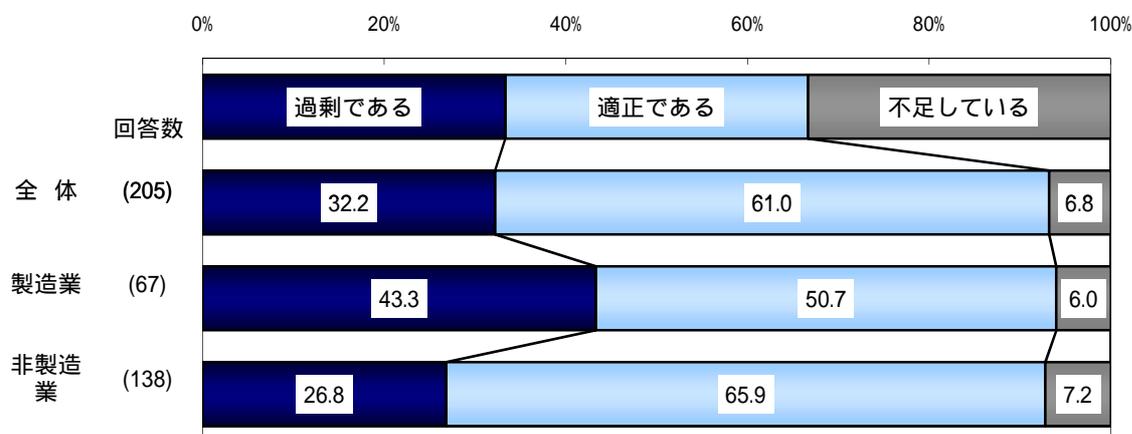
増額設備投資		(回答比%)					
回答数		能力増強投資	新規事業投資	合理化・省力化投資	環境対策投資	維持・補修・更新等の投資	その他
製造業	(67)	11.9	13.4	7.5	7.5	16.4	7.5
非製造業	(134)	13.4	14.2	14.2	7.5	14.2	2.2

減額設備投資		(回答比%)					
回答数		能力増強投資	新規事業投資	合理化・省力化投資	環境対策投資	維持・補修・更新等の投資	その他
製造業	(67)	46.3	16.4	10.4	6.0	25.4	4.5
非製造業	(134)	18.7	29.9	7.5	0.7	23.9	4.5

3. 貴社の雇用の状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。  
 (1) 全体として、雇用人員は

図表5(1)



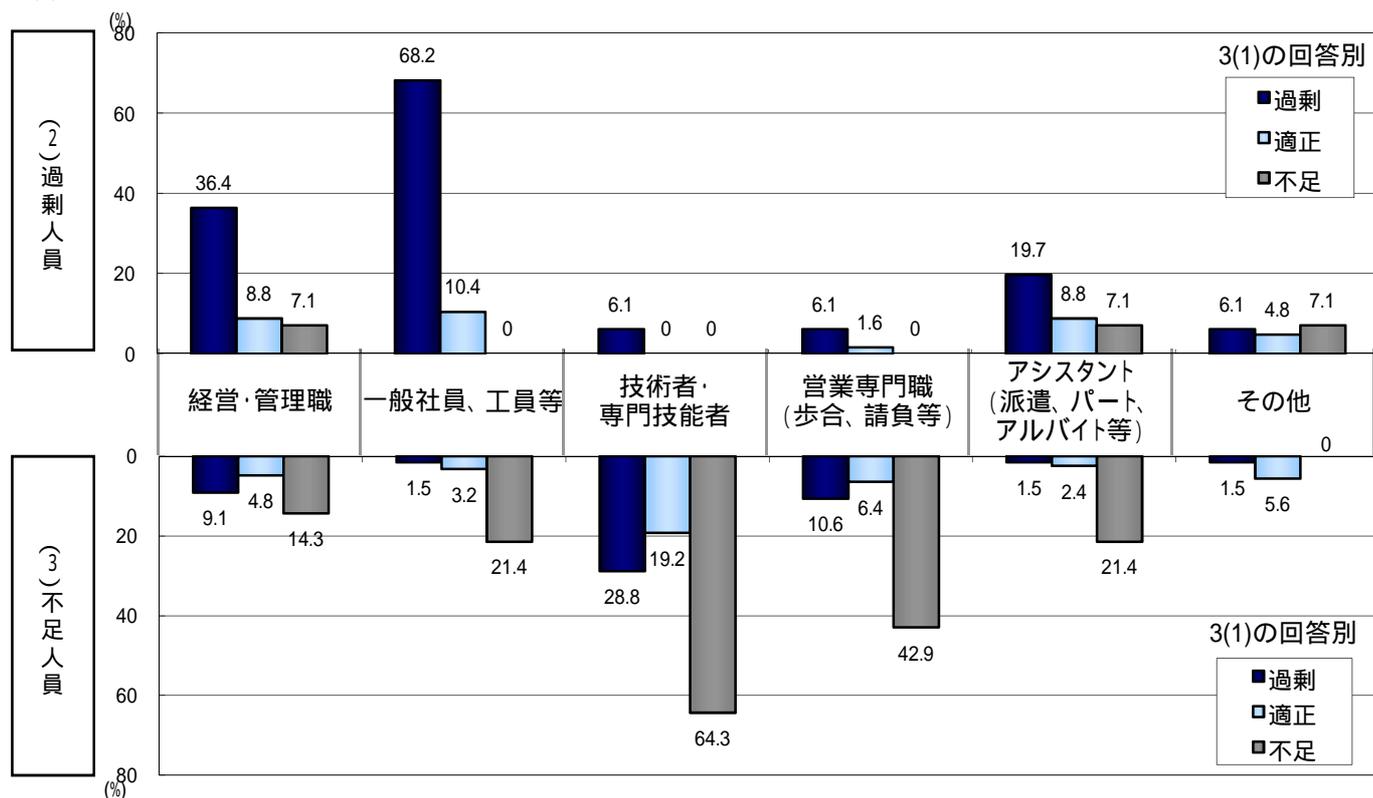
図表5(2)

		(回答比%)					
調査時点		2008/9	2008/12	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
全体	过剩である	13.1	28.5	37.2	30.7	30.2	32.2
	適正である	64.5	57.5	57.1	59.6	62.8	61.0
	不足している	22.4	14.0	5.8	9.8	7.0	6.8
製造業	过剩である	16.7	45.5	62.8	51.9	47.1	43.3
	適正である	65.2	48.1	34.6	38.0	48.5	50.7
	不足している	18.2	6.5	2.6	10.1	4.4	6.0
非製造業	过剩である	11.5	19.9	23.6	19.2	21.4	26.8
	適正である	64.2	62.3	68.9	71.2	70.2	65.9
	不足している	24.3	17.9	7.4	9.6	8.4	7.2

(2) 過剰感のある雇用人員は(2つまで)

(3) 不足感のある雇用人員は(2つまで)

図表5(3) 全体(回答数205人)



図表5(4)

過剰人員

(回答比%)

回答数		経営・管理職	一般社員、工員等	技術者・専門技能者	営業専門職(歩合、請負等)	アシスタント(派遣、パート、アルバイト等)	その他
製造業	(67)	16.4	37.3	1.5	3.0	9.0	9.0
非製造業	(138)	18.1	23.9	2.2	2.9	13.8	3.6

不足人員

(回答比%)

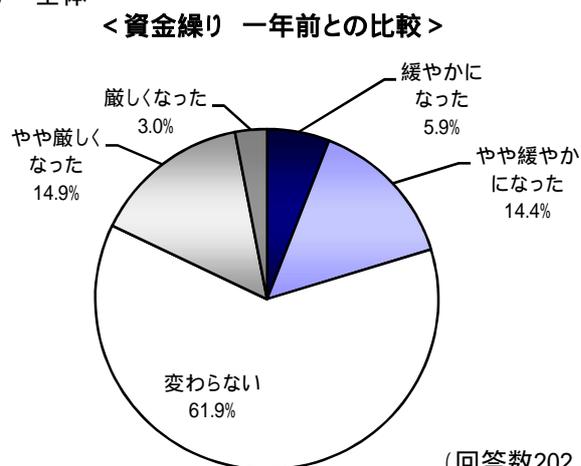
回答数		経営・管理職	一般社員、工員等	技術者・専門技能者	営業専門職(歩合、請負等)	アシスタント(派遣、パート、アルバイト等)	その他
製造業	(67)	6.0	4.5	28.4	7.5	1.5	4.5
非製造業	(138)	7.2	3.6	23.9	11.6	4.3	3.6

4. 企業の資金繰りについて伺います。

(1) 一年前と比較して、貴社の資金繰りはどのように変化したと感じていますか。

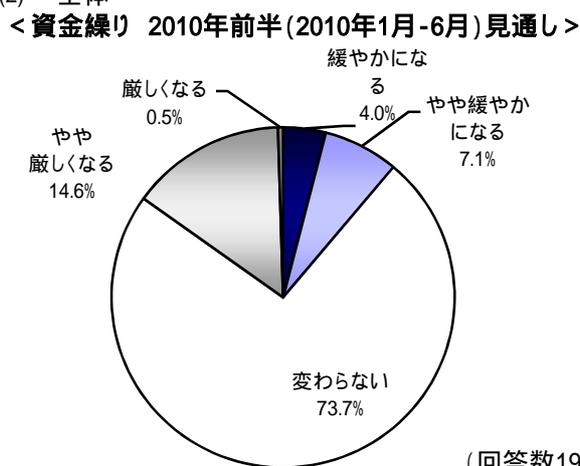
(3) 2010年前半(2010年1月 - 2010年6月)にかけて、貴社の資金繰りはどのようになるとお考えですか。

図表6(1) 全体



(回答数202人)

図表6(2) 全体



(回答数198人)

図表6(3)

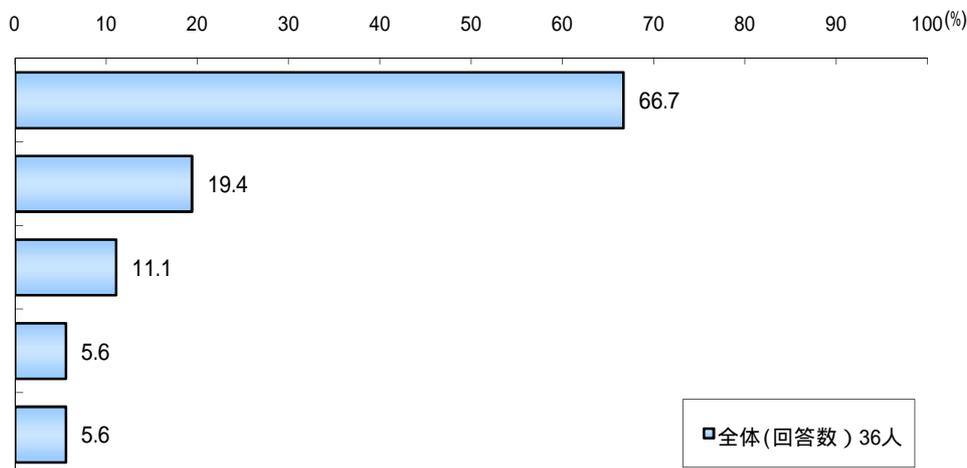
	資金繰り 一年前との比較						資金繰り 2010年前半(2010年1月-6月)見通し					
	回答数	緩やかに なった	やや 緩やかに なった	変わら ない	やや 厳しく なった	厳しく なった	回答数	緩やか になる	やや 緩やか になる	変わら ない	やや 厳しく なる	厳しく なる
全 体	(202)	5.9	14.4	61.9	14.9	3.0	(198)	4.0	7.1	73.7	14.6	0.5
製造業	(67)	7.5	17.9	61.2	10.4	3.0	(67)	3.0	6.0	79.1	10.4	1.5
非製造業	(135)	5.2	12.6	62.2	17.0	3.0	(131)	4.6	7.6	71.0	16.8	0.0

(2) 上記1)で「 やや厳しくなった」「 厳しくなった」とお答えの方に伺います。

その要因は何だと思われますか。下記の中からお答えください。

図表6(4)

全体



図表6(5)

	回答数	売上高・経常利益 の減少	金融機関の 貸出姿勢の厳格化	株価・地価の低下 による資産の減少	社債・CPの 発行環境の悪化	その他
全 体	(36)	66.7	19.4	11.1	5.6	5.6
製造業	(9)	77.8	11.1	11.1	11.1	11.1
非製造業	(27)	63.0	22.2	11.1	3.7	3.7

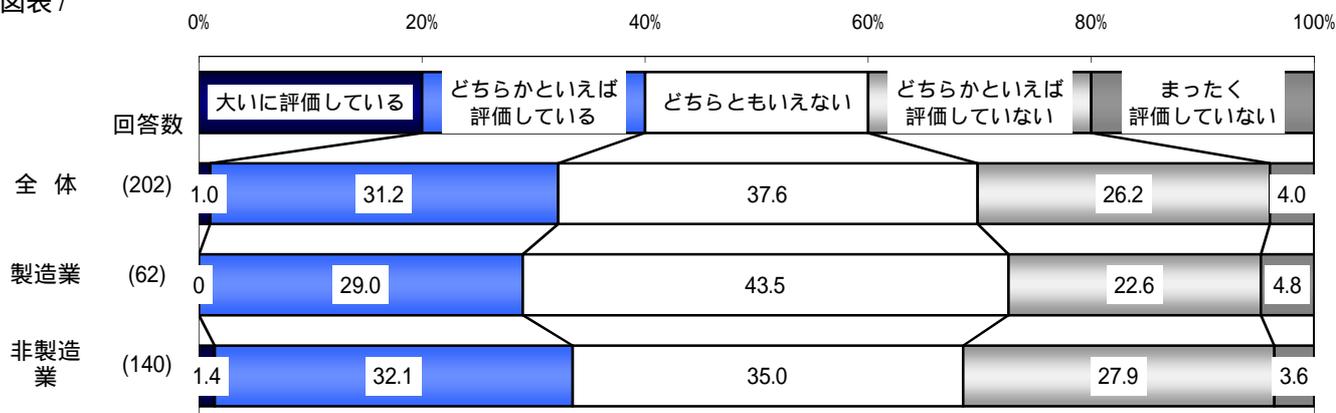
## トピックス

### 1. 鳩山政権について伺います。

(1) 鳩山内閣の発足から2ヶ月が経過しました。鳩山内閣の発足以降の一連の政策展開・政権運営全般について、評価をお聞かせください。

大いに評価している  
 どちらかといえば評価している  
 どちらともいえない  
 どちらかといえば評価していない  
 まったく評価していない

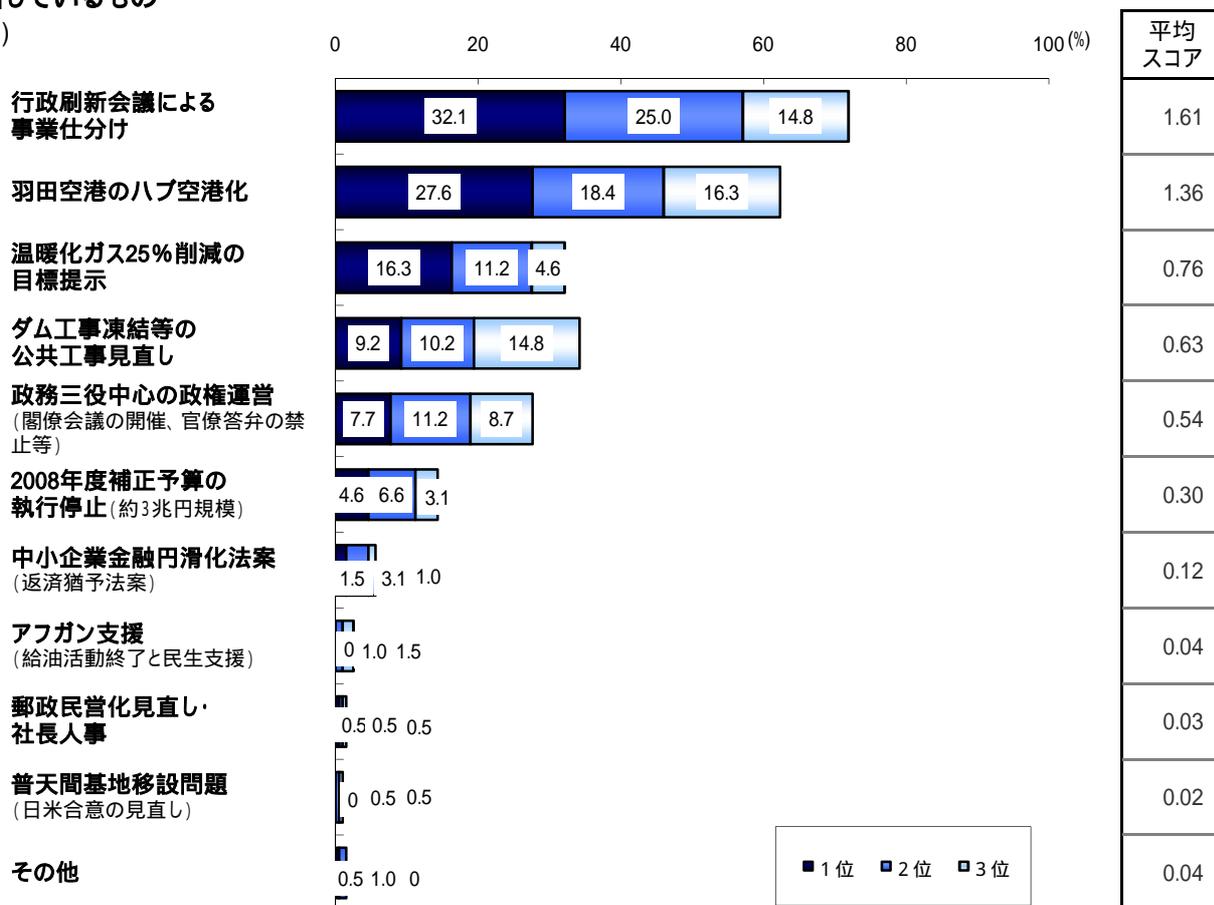
図表7



(2) 鳩山内閣の発足以降、これまでに具体化された政策等について、1) 評価しているものと、2) 評価していないものを下記の中からお選びください。なお、回答に際しては、優先順位をつけて、3つ以内でお願いします。

### 1) 評価しているもの

図表8(1)  
全体



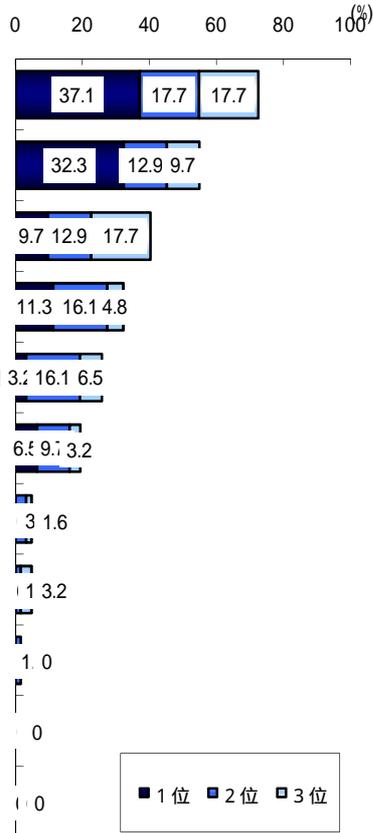
回答数: 全体=196人

注) 平均スコアは、1位:3点、2位:2点、3位:1点として算出

図表8(2)

製造業

行政刷新会議による  
事業仕分け

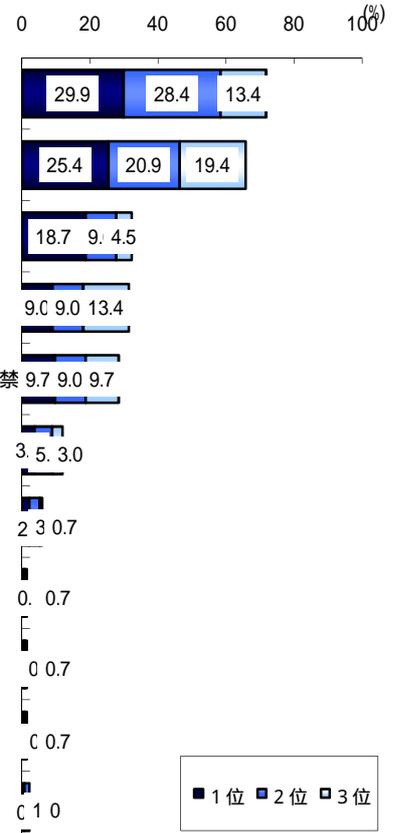


回答数:製造業=62人

図表8(3)

非製造業

行政刷新会議による  
事業仕分け



回答数:非製造業=134人

注) 平均スコアは、1位:3点、2位:2点、3位:1点として算出

2) 評価していないもの

図表8(4)

全体

郵政民営化見直し・社長人事

普天間基地移設問題  
(日米合意の見直し)

中小企業金融円滑化法案  
(返済猶予法案)

温暖化ガス25%削減の目標提示

2008年度補正予算の執行停止(約3兆円規模)

アフガン支援  
(給油活動終了と民生支援)

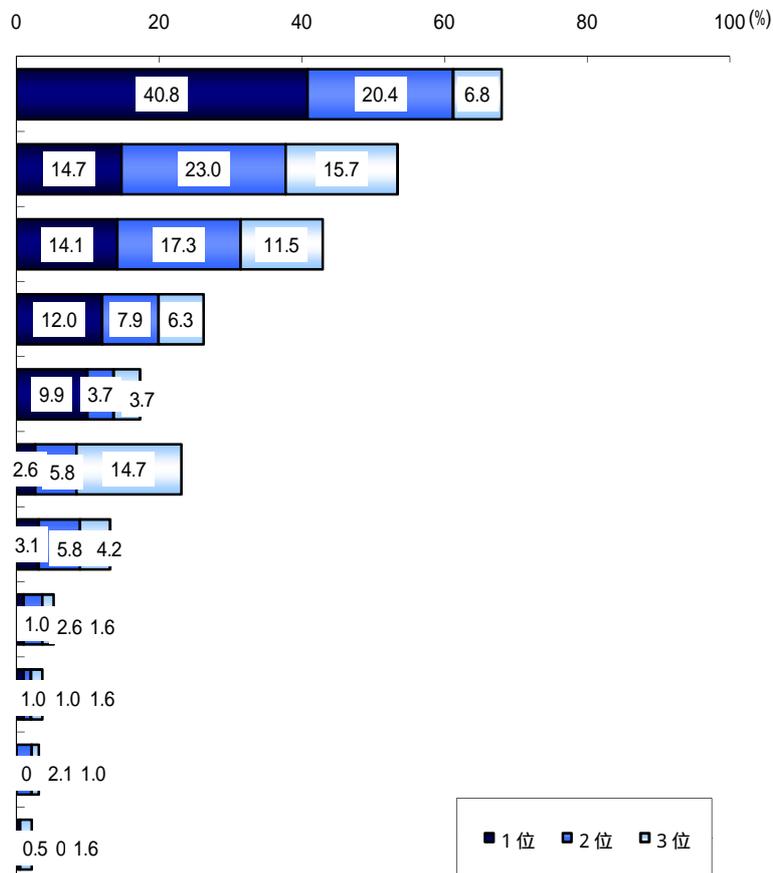
ダム工事凍結等の公共工事見直し

政務三役中心の政権運営  
(閣僚会議の開催、官僚答弁の禁止等)

行政刷新会議による事業仕分け

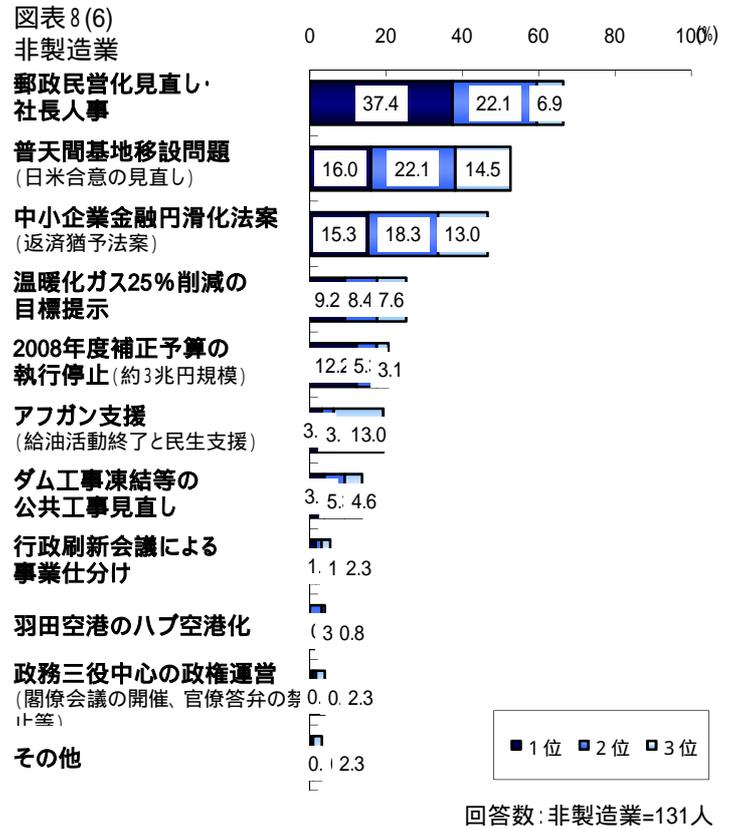
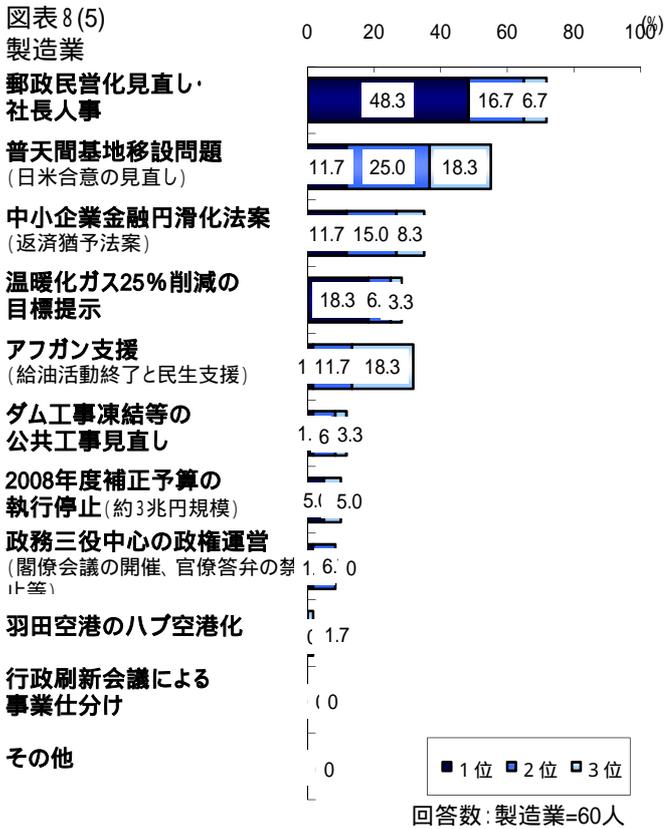
羽田空港のハブ空港化

その他



回答数:全体=191人

平均スコア
1.70
1.06
0.88
0.58
0.41
0.34
0.25
0.10
0.07
0.05
0.03



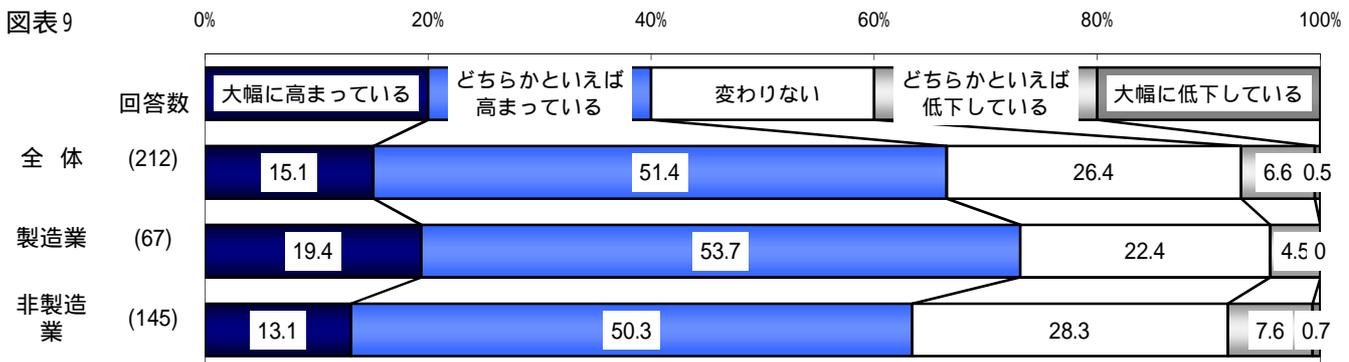
注) 平均スコアは、1位:3点、2位:2点、3位:1点として算出

2. 日本経済の展望について伺います。

(1) 9月に行った前回調査では、今後、2年間程度の日本の景気動向について「一時的な回復の後、再び減速する」との回答が35.8%となりました(最も多かった回答は「緩やかに成長する」37.3%でした)。

3ヶ月前の前回調査時に比べ、景気が減速するリスクはどのように変化したとお考えですか。

大幅に高まっている  
どちらかといえば高まっている  
変わらない  
どちらかといえば低下している  
大幅に低下している



(2) 上記(1)で「大幅に高まっている」「どちらかといえば高まっている」を選択された方に伺います。そう判断される理由は何ですか。回答用紙の所定欄に、ご自由に記入ください。

事務局にて回答を集計した。主なコメントは下記の通り。

回答数: 全体=125人

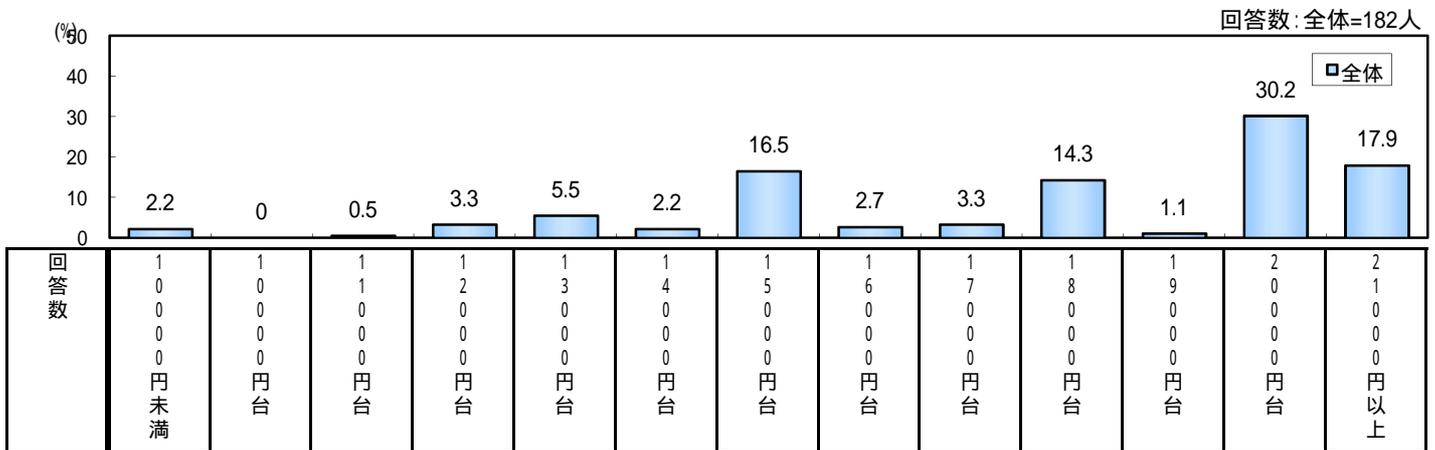
円高の進展 (為替相場)	48名	・急激な円高に伴う企業業績の下方修正のリスク
デフレの進展	29名	・デフレスパイラルによる景況感の悪化がよそうされる。
成長戦略の欠如	26名	・日本をどのように導いていこうが見えないため、新しい投資も生まれない。
消費・雇用の悪化	17名	・将来の不安による個人消費の低迷 ・雇用問題の深刻化
海外経済の減速	16名	・ドバイショックにとる金融不安の再燃とアメリカの景気回復の遅れ

(3) 11月16日に発表された2009年7 - 9月期の実質GDP成長率は前期比1.2%増(年率換算では4.8%増)となりました。また、長期金利の代表的指標である新発10年国債の金利は2009年11月27日に1.245%となりました。こうした指標を受けて、日本経済のパフォーマンスや先行きに対して様々な見方がなされています。株価は経済情勢を示す最も身近な指標であるため、株価を通じて経済の先行きを伺います。

(1) 10年後(2019年末)の日経平均株価(225種)をどう予想されますか。  
 a) 楽観シナリオ、b) 中心シナリオ、c) 悲観シナリオをそれぞれご回答ください。  
 なお、1999年12月1日の日経平均株価は18,495円95銭でした。

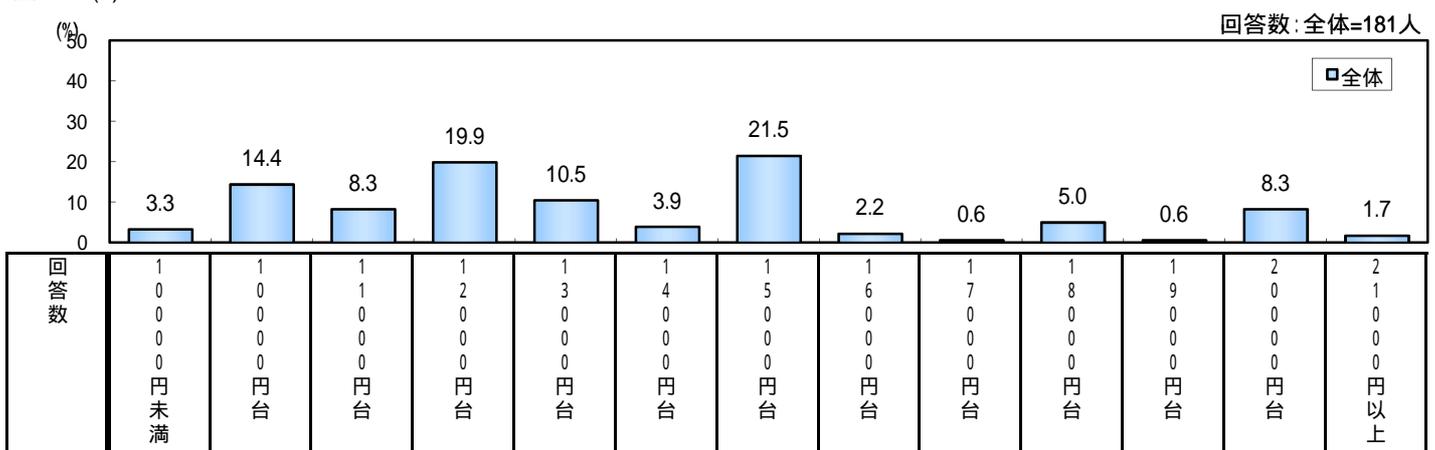
a) 楽観シナリオ **平均:18,749円**

図表10(1)



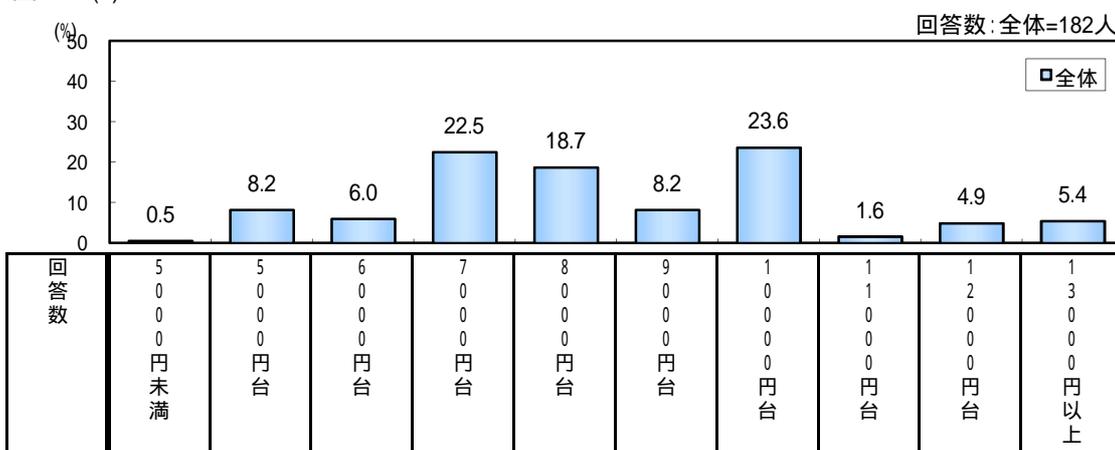
b) 中心シナリオ **平均:13,654円**

図表10(2)



c) 悲観シナリオ **平均:8,822円**

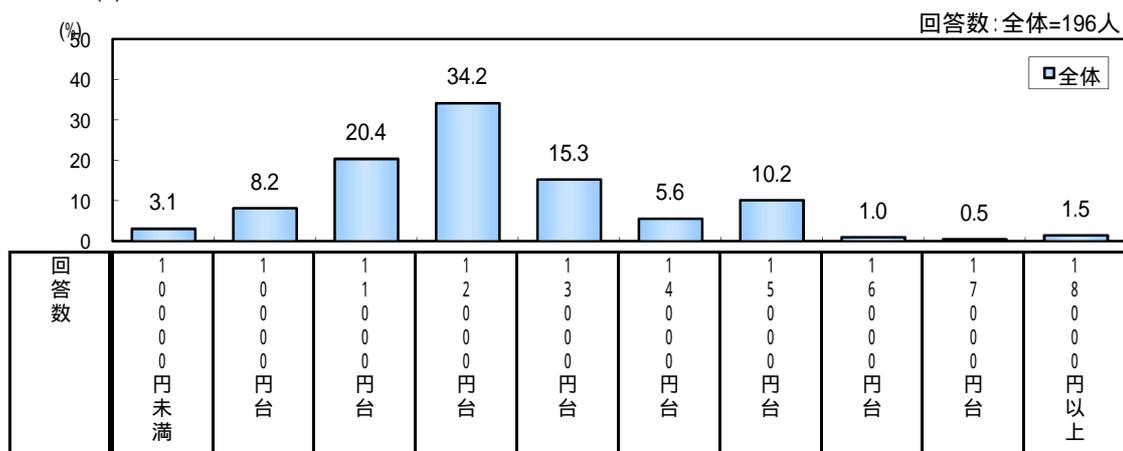
図表10(3)



(2) 1年後(2010年末)の日経平均株価(225種)をどう予想されますか。  
 a)楽観シナリオ、b)中心シナリオ、c)悲観シナリオをそれぞれご回答ください。  
 なお、2008年12月1日の日経平均株価は8,397円22銭でした。

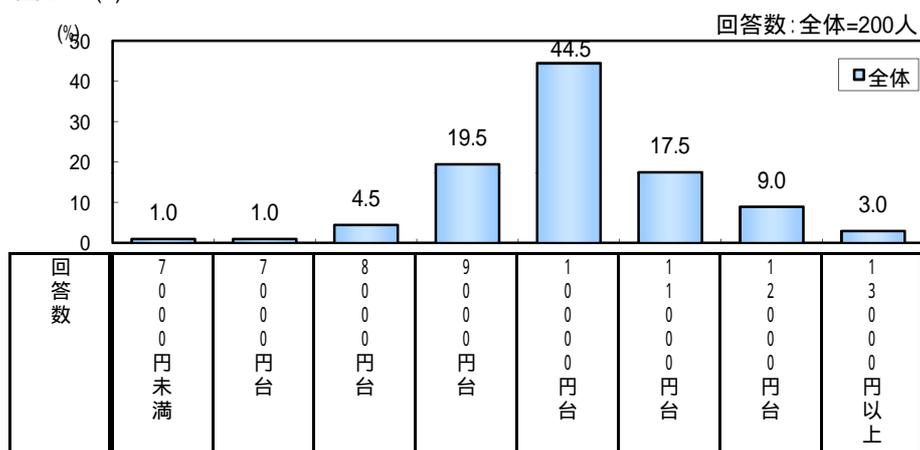
a)楽観シナリオ **平均:12,298円**

図表11(1)



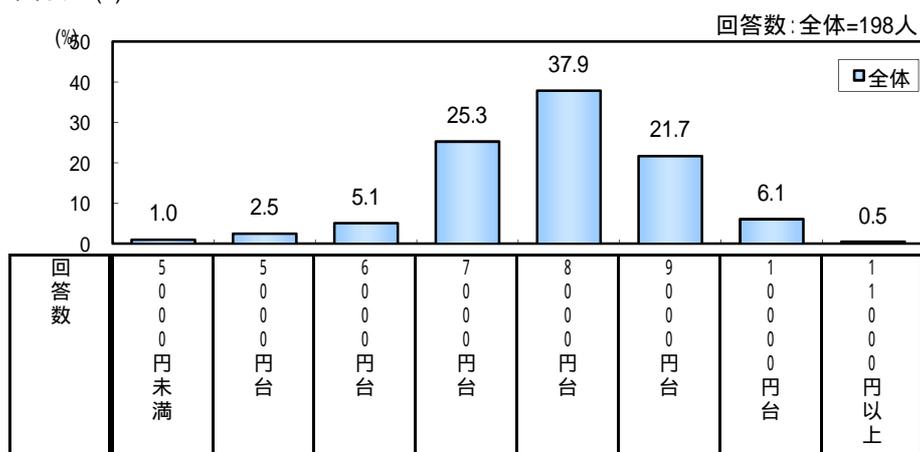
b)中心シナリオ **平均:10,179円**

図表11(2)



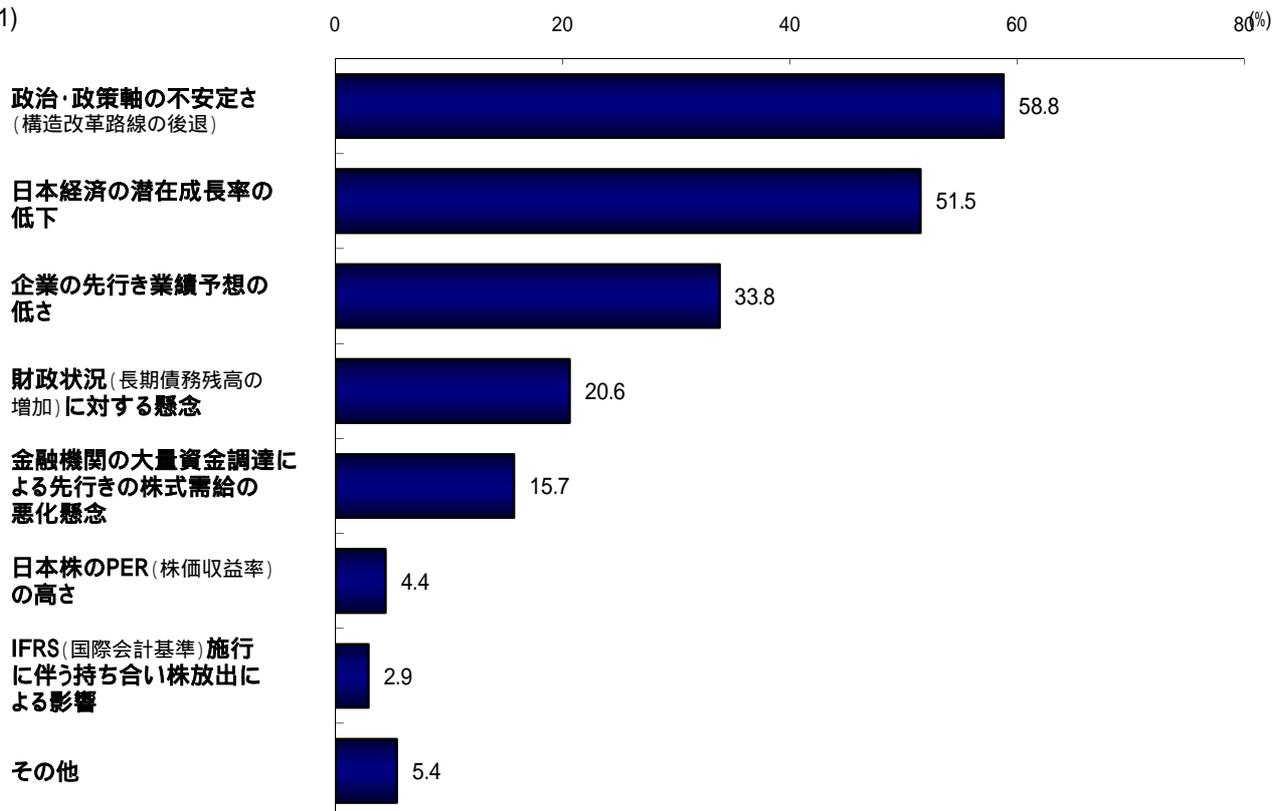
c)悲観シナリオ **平均:7,932円**

図表11(3)



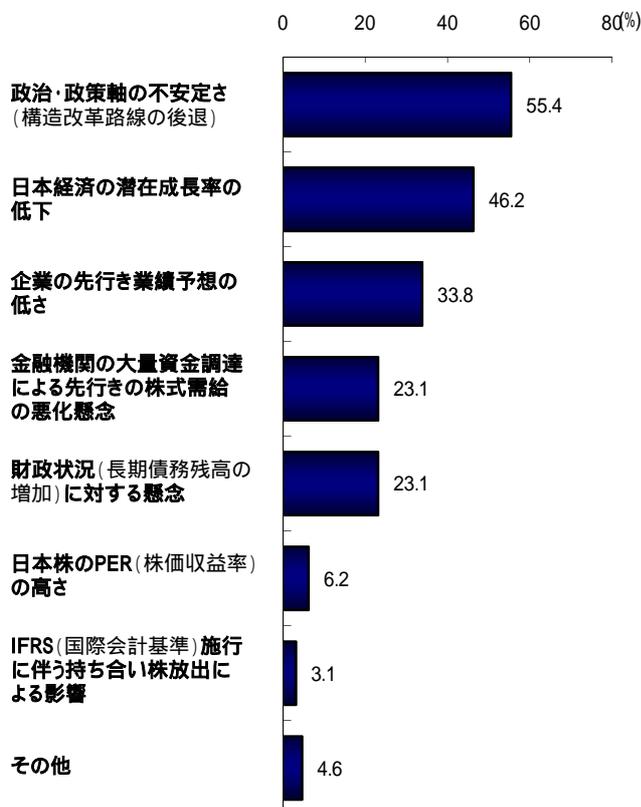
(4) 2009年7 - 9月期の実質GDP成長率は前期比1.2%増となり、2・四半期続けてのプラス成長となりました。各種の経済指標を見ると、米欧各国と比較して、景気回復は悪くないペースですが、株価の回復は遅れ気味です。株価回復の遅れの原因について、下記の中からお考えに沿うものをお選びください(2つまで)。

図表12(1)  
全体



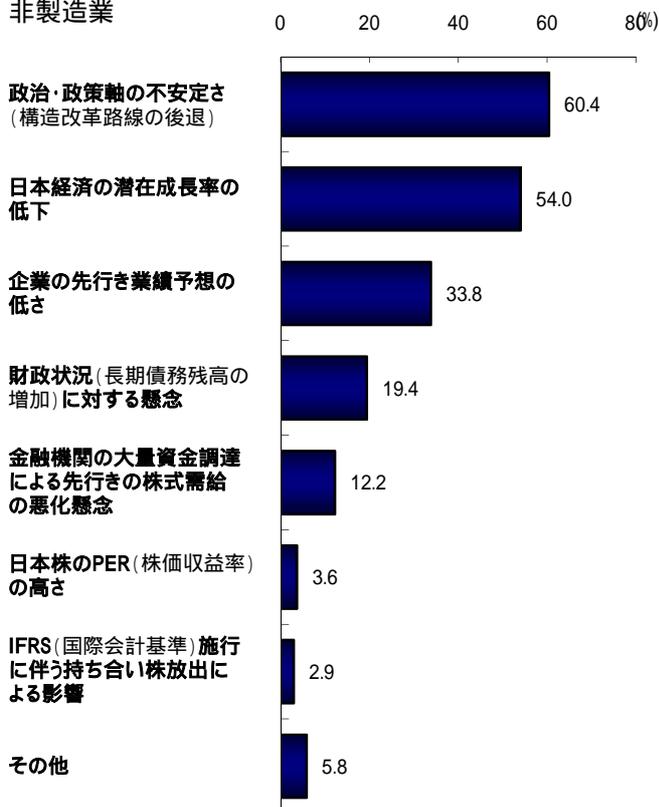
回答数: 全体=204人

図表12(2)  
製造業



回答数: 製造業=65人

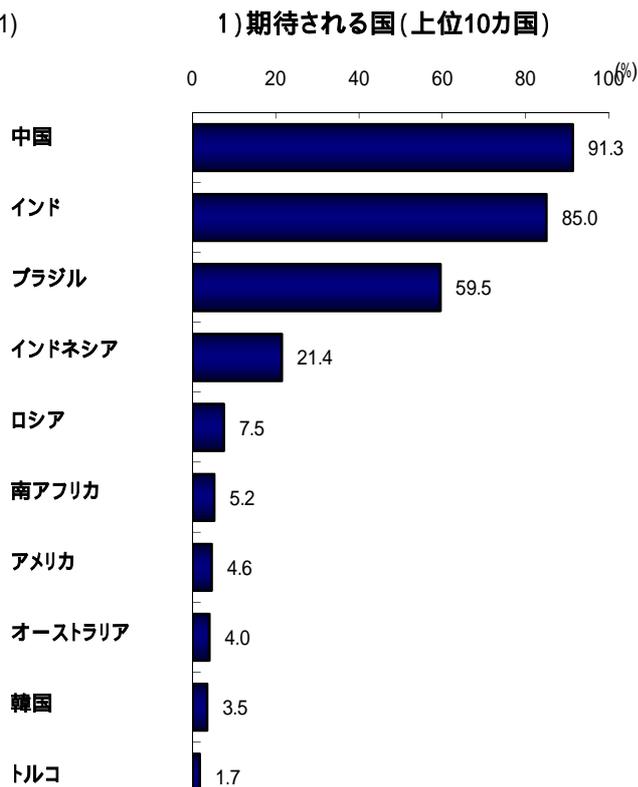
図表12(3)  
非製造業



回答数: 非製造業=139人

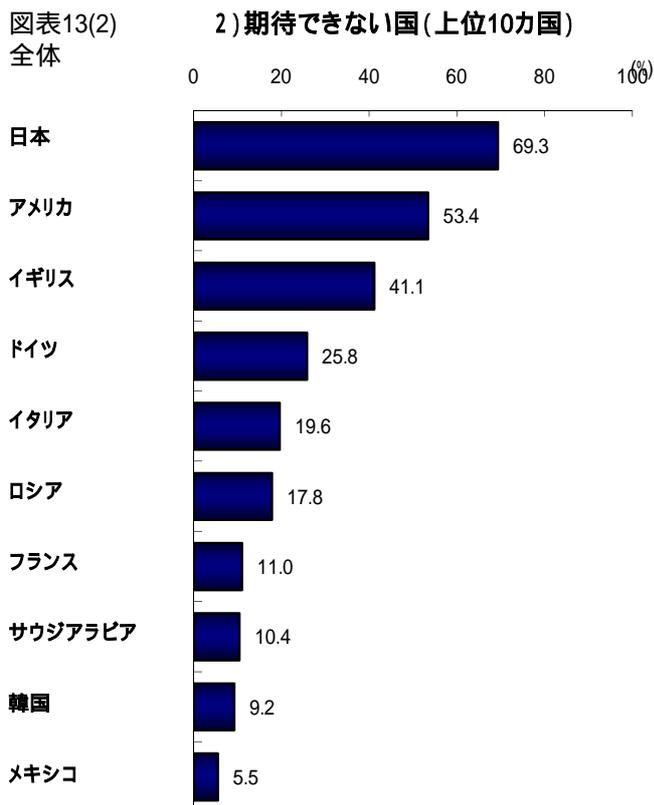
(5) G20参加国の2010年における経済情勢をお伺いいたします。1)2010年に経済成長が期待される国、2)2010年に経済成長が期待できない国をそれぞれ3つまでお選びください。

図表13(1)  
全体



回答数:全体=173人

図表13(2)  
全体



回答数:全体=163人

- 回答者業種分類 -

製造業	67人
食品	10
繊維・紙	6
化学製品	18
鉄鋼・金属製品	4
機械・精密機器	8
電気機器	12
輸送用機器	2
その他製品・製造	7
非製造業	145人
建設	11
商業	26
銀行	18
その他金融	9
証券	5
保険	5
不動産	5
運輸・倉庫	13
情報・通信	17
電力・ガス	3
サービス(コンサルティング、研究所)	6
サービス(法律・会計・教育・医療など)	8
サービス(ホテル業、エンターテインメント)	4
サービス(広告)	1
サービス(その他)	11
その他	3
回答者総数	212人

- 回答者ブロック別分類 -

(社)経済同友会	164人
各地経済同友会代表幹事計	48人
北海道・東北	8
関東	6
中部・北陸	6
近畿	8
中国・四国	12
九州・沖縄	8
回答者総数	212人